



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

DECEMBER 1990 vol. 6

The Service Club to the YMCA

Chartered September 25, 1982

MOTTO (1990~1991)

I P Individual effort makes the difference.	個々の相異で輝く業を
A P Think Globally, Act Locally.	地球規模の発想でローカルな実践を
R G D G One Step for the Future	未来へ向かって一歩
C P	活気ある協力に生きよう

今月の強調テーマ EMC および Y's Spirit

MERRY CHRISTMAS



今月の聖句

イエスは、また人々に語って言われた「わたしは世の光である。わたしに従って来る者はやみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」
 (ヨハネによる福音書 第8章12節)
 (田中穰二君選定)

ワイズメンズクラブ・モットー

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 「強い義務感をもとう。
 義務はすべての
 権利に伴う。」

12月第1例会

(クリスマス華族例会)

日時 1990年12月20日(木) 6:30~8:30 P.M.

会場 (株)平田タイル・ビル

「オレンジ・ホール」

地下鉄四ツ橋線本町下車22番出口すぐ前

第1部 讚美礼拝 (6:30~7:00)

第2部 例会並びにクリスマス・パーティー

	司会	湯浅充章君
1、開会点鐘		福永嘉彦会長
2、クラブソング		— 同
3、ゲスト紹介		福永会長
4、乾杯		鈴木謙介君
5、晚餐		
6、フルート演奏		山口留里子嬢
7、ビンゴゲーム		司会者
8、お誕生祝い		
9、ニコニコ献金		ドライバー
10、役員会、委員会報国、YMCAニュース		
11、閉会点鐘		福永海鳥

会費 メン、メネット、ワイズリング、ゲスト
みんな5,000円均一(小学生以下は半額)
今月の当番(会場準備、あとかたづけ等。ホンマにやっや!)
山村君、蔭山君、藤原君、佐藤君、松添君(6班)

11月 出席状況

会員数	37名
第1例会出席会員	21名
ゲスト	6名
メネット	5名
YEEP関係会合でMU	1名
第2例会出席会員	10名 うちMU 3名
メネット	1名
*出席率	67.57%(前月 77.78%)

11月 BF報告

	現金	切手
11月	41,720Pt.	1,600Pt.
累計	42,774Pt.	13,320Pt.

11月の切手提供車 出席者 全員

12月にHappy Birthdayを迎える方々
イエス様、黒田君、上月君、中村君、堀君、

クイズ

今月号のプレインに幾つ誤字があるでしょう?
12月例会でお尋ねし、正解者には賞品を差し上げます。正解者多数の場合は抽選できめます。

BFの月 盛り上がった11月第1例会

隅田 保

秋月利英さんご入会おめでとうございます。福永会長による入会式はいつものように厳粛にすすめられ、思いを新たにいたしました。

今月のゲストスピーカーは、大阪YMCA主任主事田中義信氏、”近年とみに活発化したYMCAの国際プログラム”のテーマでお話しいただきました。日本各地のYMCAの国際的動きは、1、国際交流 2、国際協力 3、国際理解の3つに分けられ、それぞれ2国間交流や、地域又は都市間の交流の現状。異文化交流を含んだプログラムのあり方。そして国際理解のためにどのようなことを設けているかを具体的に解り易く説明されました。特に前もってYMCAの目的や役割を4つのポイントでお話しされましたが、それと現状の動きがYMCAの理想として今日通用するかどうか、今後共その方向性を摸索しているなどと非常に興味深く感じました。

続いて杉浦BF委員長の出番。はかり、ハサミ、ビニール袋の用意も周到。5班にわかれて、切手の重さ、切り方等を実際に学習。これからはしっかりBFしましょう。1人4,000ポイント、1kgが目標です。

藤井主事より11月17日の留学生エイドバザー、盛況に終わったとのこと。商品提供や応援のお礼が述べられました。

今回のゲストは西Y'sの石合靖民会長、大阪クラブの加茂栄三氏、高槻Y'sの伊藤氏、国松氏、メネットは5名出席でした。

最後に出席者全員でクリスマスカード用の写真を撮っていつもより遅く例会を終りました。

留学生エイドバザー ご苦労さまでした

CS・Yサ事業員会

恒例の日本語学校留学生支援バザーは11月17日(土)奉仕センターにて開催。この辺りでは知る人ぞ知るの名物行事で、開場11時の30分以上前から待ち行列ができ、準備する側もせきたてられて興奮気味。衣料品・家庭用品・電化製品・食品の各ブロックに開場と同時にどっと人が押しかける様は、かつてのデパート大売出しを思い起こさせる光景。売手はYMCA関係者と留学生自身、それにセンテナルの面々も加わっての大奮闘。テレビ局の取材も来ていたようだが、気を向けている余裕もなし。たくさん買すぎて宅急便を呼ぶ人もありの大盛況で、14時の終了時にはほとんど売切れとなった。

予約販売の食品のほうで一人で60万円受注したという方があったりして企画がわも感激する。バザーの買い手にしても、もちろん安いからということもあるが、ベースに奉仕という共通認識があるので、混雑の中でもおたがい和やかで気持ちのよい交流感が漂っているのが素晴らしい体験であった。

労力ご奉仕の方は次のとおり。

伊藤、福永、湯浅、山田各メン 伊藤、福永、佐藤、谷川、平田、隅田、山村各メネット

第3回 中西部評議会報告

山田 孝彦

本年度第3回中西部評議会が11月10日(土)、社会奉仕センターで行なわれた。青木部長主宰のもと中西部各クラブ会長・事業主査・部選出代議員・次期部長が出席して、部全体・各クラブの事業活動の現況報告や、今後の計画の確認などが行なわれた。また日本区の情報も報告された。青木部長からは特に例会出席率の向上とEF(エンタウメントファンド)の促進が強調された。また、新年合同会の席上献金をユースウエストの支援に提供することを承認した。更にこの活動にワイズとしてどう関わっていくのか基本的なあり方を今後の課題とすることが確認された。

評議会終了後、部選出の日本区代議員の選挙が行われた。中川健蔵君(大阪)・高木志朗君(土佐堀)が選出され、市田忠夫君(高槻)が次点となった。新代議員は'91年7月から2年の任期となる。センテニアルの山田代議員はこの時点で退任。また市田君は一応次点になったが中西部の会員数が来年1月1日までにあと数名増加して250名になれば繰り上げ当選となる。センテニアルからの出席は福永会長・山田次期部長。また代議員選挙には堀・上月両副会長が選挙権を行使した。

<註>代議員については、ワイズ名簿巻末の日本区定款422ページを、EFは411ページを参考にお読み下さい。

Q&A「CSって何?」シリーズ(第4回)

CS委員 山田 孝彦

Q「子供たちも一緒に『飢え』について考える時間を持つということですか?」

A「6月例会で、PHDの草地氏のお話から全世界の80%の食料を25%の豊かな国の人々が食べてしまうことを知らされ、ショックを受けたことは記憶に新しいことです。また私達が肉食をする時、その目方の8倍もの飼料穀物が牛に与えられていること。そしてその穀物は、南の国の人々の主食を日本が輸入している現状も知りました。私達の豊かな生活が、彼らの飢餓の因につながっているとされても仕方がないのです。そんなことも含めて、繁栄の裏側にある弱い立場の人々のことを思い、自分の日常を見直す機会になればと思います。

今年のアジア会長モットーは“Think Globally, Act Locally”地球規模の発想で足元を見詰めようということです。この視点から見れば「環境汚染・ゴミ公害・フロンガス・省資源」などテーマはいくらでもあります。

Q「具体的な形としては?」

A「1日10円を気持ちとして竹筒に投じてください。年間3,650円がFF募金の目標です。さあ今日からすぐ始めてください。そして2月のTOFと一緒に「Human Crisis」事業に供しようではありませんか。 <完>

ブラザークラブの起こり(2)

アメリカのペンシルバニア州のハリスバーグクラブは甲府のY'S men'sクラブに、毎年県内の高校生10名の授業料を奨学金として、10年に渡って送金をしていた。この為1966年、甲府のYMCAは改築の際に出来た新しい部屋を上記を記念して、ハリスバーグホールと名付けた。現在は、この部屋はありませんが、新しいYMCAの2階にこのプレートが残っているそうです。

ある時 国際展望委員会の部門が「ブーメラン」という本を後援した。この本は10クラブの各々が6ページずつ使って、クラブの歴史、クラブ事業の写真、地図やクラブの地域性等を背景とした興味あるデータを載せ、足りない部分は地方の展望委員会で補う事にした60ページの大きな本であった。

この本は、最初のクラブの部分から読み始めると、内容的にも最後には又始めの部分にもどる様に構成されている大変ユニークなものであった。

この本を作るにあたり、各々のクラブは、自分の所の記事を書き終わると、その本を国際事務局に送り、そこから次のクラブに郵送する方法をとった。

これは、面白い事業でありましたが、転送スケジュールに無理があった為、中止となった。

World Outlook (国際展望委員会)より

この様に、IBCのプログラムはこの様な歴史の基に作られ皆さん御存じの現在の姿に発展して行っただけです。IBC事業の真の目的を今一度考え、その発展を今後共考えようではありませんか。

(文責 本年度日本区IBC主任 鈴木俊男)

中西部合同新年会

日時 1991年1月12日(土)午後4時~7時

会場 大阪京阪天満 大阪キャッスルホテル

アトラクション

”ロイヤルフラッシュジャズバンド”が演じる

デキシーランドジャズの夕べ

その他カラオケなど新しい新年会を企画中

会費 メン、メネット 各10,000円

コメット 5,000円

申込み 湯浅書記から送られる往復ハガキでご出

欠をお知らせ下さい。他のクラブの方々と

親しくなれるチャンスです。大挙して参加

いたしましょう。

阪和部新年合同例会

日時 1月13日(日)午後2:00~4:30

会場 大阪南YMCA

会費 メン、メネット 10,000

(前納 9,000円)

コメット 3,000円

THE CENTENNIAL

ブラザークラブ便り

ハワイからのたより

谷川 寛

11月号の"NUUANU Y's UP" (ヌアヌクラブのプレティン)に、私達のブラザー・クラブとの交流について、次のような記事が載っていました。是非ご一読下さい。

BROTHER CLUB UPDATE

by Larry Hiranaka

Further in the tri-club get-together in Hong Kong being planned for next summer, KAN TANI KAWA writes; "It is nice to know that five members of your club, together with spouses, have already expressed their wishes to visit Hong Kong next summer".

"of the 3 routes you proposed, I am personally in favor of Route #2, which will give your members who have not yet visited us in Osaka, a chance to meet your brother club members. It is also possible for us to plan some get-together for your members."

"Once again, it is great to know that the enthusiasm is strong with your members. I am certain this must be an exciting get-together of the three clubs in Hong Kong. We are also looking forward to it."

Mr. MASATOSHI HIRATA, a member and Past President of the Osaka Centennial Club was a surprise visitor in Honolulu. MASATOSHI arrived with his brother, a sister and his mother on October 4 and departed October 9. On October 8th, We held a dinner at the Hee Hing restaurant honoring the HIRATA family. The HIRATA's were most appreciative. Participants included JULIE and MAURICE SHIMONISHI, BOB KUWAHARA, JIMMY OUCHI, JOAN FONTANA, MEL and MURIEL ISHIHARA, CALVERT and NORINE HUNG and the HIRANAKA's.

ハワイ、ヌアヌクラブへの訪問

平田 雅利

10月に親孝行のつもりで、母親と一緒にハワイに行って参りました。その時、今年春、当クラブへ訪問されましたヒラナカ様へTELを入れましたところ、クラブメンバーを多数集めて頂き、我々のために大歓迎会を開いて下さいました。

古き良き日本の心に接したように感じ、素晴らしい思い出を作ってくださいました。

<註>平田ファミリーのハワイ訪問の様子は上のヒラナカさんの記事のあとの部分に載っています。

12月第2例会

日時 12月26日(水)6:30~8:30P.M.

場所 Y.M.C.A.国際社会法師センター

メネット会 報告とお知らせ

福永 滋子

11月17日の留学生エイドバザーには6名の方々のご奉仕を頂きました。2時間余りは、目の回るような忙しさでしたが、またよき交わりのひとときでもありました。お疲れさまでした。その大奮闘ぶりをご参加下さった方々のお名前は、3ページのCS、Yサ事業委員会の報告をご覧ください。

12月20日(木) クリスマス家族例会

1月14日(月) 留生成人式…お昼休みの12時40分から15分位で終わります。そのあとお食事を共にして楽しいおしゃべりのひと時を過したいと思っております。

どうぞ、ご予約の中に加えてご出席下さいませ。

…自己紹介…

津田 葉清政

1943年、岡山県の山村に生まれ、15才で来阪宝石貴金属卸店、みつわ真珠工業(現在、株式会社みつわ)に技術見習いとして入社、現在に至る。

18才でナザレン教団、大阪桃谷教会の於いてキリスト教に入信、以来教会学校教師として、現在も京都本町教会にて奉仕しております。

1988年より関西ののちの電話相談員になり現在に至る。

その他特筆することもなく、無免許、無資格、「何もなければ失うものもない」という言葉を心の支えに自然に逆らわない生き方を、信条としております。

性格は、職人気質とでも言うのでしょうか、それと思えば、いちづに貫こうとする辛抱強さがある反面、気短かで即決を求める面もあります。多少、軽率な面もあり、「おっちょこちょい」とも言われます。

どうぞよろしく。

11月新入会の秋月利英君ご紹介

ご本人の生年月日 1933年5月8日

メネット季子(すえこ)さん 10月28日

自宅=〒659 芦屋市西蔵町8-3-410

Tel. 0797-31-5039

勤務先 (株)大丸本社人事本部(専任部長)

Tel. 06-281-9005

かわら版

11月第1例会で全員のご賛同を得て、前会長山村幸明君が当クラブ監事に就任されました。

森 庄司君(元会長)

去る12月2日逝去されました。在りし日の温顔を偲びつつ、謹んで哀悼の意を表します。

編集後記

中村隆幸君から大量の未使用切手をご寄贈頂きました。現金ポイントの急増はそれによるものです。

ニコニコメッセージは紙面の都合で割愛しました。